

2020 年度 授業概要

科目名	理学療法技術論 I			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間 (2単位)	配当学年・時期	理学療法士科3年	前期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
整形疾患に対する理学療法の評価および治療プログラム作製を習得する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
具体的な症例を提示し実技を中心に、評価及び治療技術の習得を行います。実技を行える服装を用意してください。								
〔講師の実務経験〕								
リハビリテーション病院にて主に脳血管障害に対して12年間理学療法士として従事する。								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
代表的な整形疾患の概要及びそれに対する理学療法の関わり方を理解する。各疾患に必要な評価及び治療プログラムが考察できる。								
回数	講義内容							
1	整形外科概論							
2	運動器疾患の理学療法							
3	肩関節について①【解剖・触診】							
4	肩関節について②【解剖・触診】							
5	肩関節について③【代表的な疾患】							
6	肩関節について④【評価・リハビリテーション】							
7	肘関節について①【解剖・触診】							
8	肘関節について②【代表的な疾患・評価・リハビリテーション】							
9	手関節について①【解剖・触診】							
10	手関節について②【代表的な疾患・評価・リハビリテーション】							
11	股関節について①【解剖・触診】							
12	股関節について②【解剖・触診】							
13	股関節について③【代表的な疾患】							
14	股関節について④【評価・リハビリテーション】							
15	膝関節について①【解剖・触診】							
16	膝関節について②【解剖・触診】							
17	膝関節について③【代表的な疾患】							
18	膝関節について④【評価・リハビリテーション】							
19	足関節について①【解剖・触診】							
20	足関節について②【解剖・触診】							
21	足関節について③【代表的な疾患】							
22	足関節について④【評価・リハビリテーション】							
23	体幹について①【解剖・触診】							
24	体幹について②【解剖・触診】							
25	体幹について③【代表的な疾患】							
26	体幹について④【評価・リハビリテーション】							
27	運動器疾患のケーススタディー①							
28	運動器疾患のケーススタディー②							
29	テーピング							
30	テーピング							
定期筆記試験								
〔 準備学習・時間外学習 〕								
〔 使用テキスト 〕								
書籍名		著者名		出版社				
整形外科疾患の理学療法		富士 武史		金原出版				
参考書籍名								
触診解剖アトラス 医学書院・IDストレッチング 三輪書店・標準整形外科学 医学書院								
〔 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 〕								
筆記試験を基本に単位認定をおこないますが、実技および口答試験も検討します。出席状況も参考にします。								